

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
福祉心理学専門演習 I		必修	2	3	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe		水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 自分自身が目指す将来像を整理するために、福祉学に基づく自己覚知を行い、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解し、必要な知識や技術を身につけることを目的とする。</p> <p><概要> 福祉学に関するワーク及び調査・分析を行う。そのため受講生同士のグループワークや PBL、プレゼンテーション等を繰り返し活用し理解を深める。また、学外でのフィールドワークを実施しソーシャルワーク実践の実際を体験的に理解する。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	社会の中で自分らしく生きることができるよう、福祉学の知識を活かし自分自身について理解を深めて欲しい。授業への積極的な参加を求める。					
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。					
参考書	特になし。					
外部教材	特になし。					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	福祉学に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。		HSU(1)、(2)、WP(5)			
②	福祉学の専門的知識を活かし、自己について理解することができる。		WP(4)			
③	福祉学の専門的知識を活かし、人間社会の現象を理解することができる。		WP(5)			
④	多面的かつ効果的な工夫を凝らして、成果を発表することができる。		HSU(4)、WP(3)			
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。授業の全体像について学ぶ。	講義・演習	授業内容の振り返りを行う。	3		
2	福祉学に基づく自己覚知(1) 目指す将来像を整理する方法について学ぶ①。	演習	授業内容の振り返りを行い、調べ学習を行う。	3		
3	福祉学に基づく自己覚知(1) 目指す将来像を整理する方法について学ぶ②。	演習	授業内容の振り返りを行い、調べ学習を行う。	3		
4	福祉学に基づく自己覚知(1) 目指す将来像を整理する方法について学ぶ③。	演習	授業内容の振り返りを行い、調べ学習を行う。	3		
5	実践領域についての調べ学習(1) 関心のある領域と自分とのかかわりについて学ぶ①。	演習	授業内容の振り返りを行い、調べ学習を行う。	3		
6	実践領域についての調べ学習(1) 関心のある領域と自分とのかかわりについて学ぶ②。	演習	授業内容の振り返りを行い、調べ学習を行う。	3		
7	実践領域についての調べ学習(2) 関心のある領域と自分とのかかわりについて発表する。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	6		
8	実践領域についての調べ学習(3) ソーシャルワーク実践の実際について学ぶ①。	フィールドワーク	フィールドワークで得た学びを整理する。	6		
9	実践領域についての調べ学習(3) ソーシャルワーク実践の実際について学ぶ②。	フィールドワーク	フィールドワークで得た学びを整理する。	6		
10	福祉学に基づく自己覚知(2) 社会に適応するための方法について学ぶ。	演習	授業内容の振り返りを行う。	3		
11	実践領域についての調べ学習(4) 関心のある領域と自分とのかかわりについて学ぶ①。	演習	授業内容の振り返りを行い、調べ学習を行う。	3		
12	実践領域についての調べ学習(4) 関心のある領域と自分とのかかわりについて学ぶ②。	演習	授業内容の振り返りを行い、発表準備を行う。	3		
13	実践領域についての調べ学習(5) 関心のある領域と自分とのかかわりについて発表する①。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	6		
14	実践領域についての調べ学習(5) 関心のある領域と自分とのかかわりについて発表する②。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	6		
15	総括を行う。	演習	これまでの授業内容を整理する。	3		

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

試	評価のポイントを参照		
---	------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	40	0	60	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	15	15
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	5	25
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	10	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	2 回の発表会について、現代社会の諸問題に関する知識を踏まえた内容か、自ら発見・思考した内容が表現されているか、相手に伝えるための技術が適切か等を総合的に評価する。	発表後に講評及び解説、さらに以後の講義で成長に必要な取り組み課題を指摘する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	発表会に向けた準備及び持続的な修正に対して真摯に取り組みや学フィールドワークに向けた積極的な意欲・態度について、総合的に評価する。	毎回授業時に個々にコメントを加えた上で、次回までの改善点を指示する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	田村正人、間嶋健
教員の実務経験	
実践的授業の内容	
そ の 他	学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。 学外でのフィールドワークを実施予定のため、担当教員の指示に従うこと。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めないこともある。